

# モンテッソーリ教育

## その1

春日幼稚園では「モンテッソーリ教育」の精神を正しく取り入れ、一人ひとりの個性を十分に生かし、子どもの「自ら育つ力」を援助しながら、保育をしています。

この「自ら育つ力」とは・・・

子どもはこの世に生まれて、お母さんの身体から離れたその瞬間から「自立」へと向かっています。

例えば「おぎゃあ！」と泣いて一人で呼吸することから始まり、生きていくための様々な欲求（お腹が空いた・お尻が気持ち悪いなど）を、全身を使って周りへと訴えてきます。これもまた「自立」の一つです。

そして、できるだけ体を動かそうとし、手・足、全身を使って周りの環境に刺激を受けながら、「これはなにかな？」「できるかな？」と確かめようとしていきます。



お兄さん・お姉さんの  
活動を見ていて  
「やってみたい」と  
取り組む  
1歳児さん



集まりの中でほうきの使い方を  
伝えています。

私たちは、子どもは本来自分で「やりたい！」「できるようになりたい！」という心からの願いをもっていると考えています。

毎日の生活・遊びの中で一見無意味に見えるかもしれない子どもの活動も、実は自分の身体のすみずみまでをも自分が主人となって、一生懸命使いこなしている姿なのです。この「子どもが生まれつき持つ、自分で成長する力」を私たちは信じ、お手伝いができるように日々保育を行っています。